



～次の飛躍へ 確かな一歩を～ 第26回定期大会を盛大に開催!



団結がんばろう!



議長団

本川会長あいさつ



来賓のみなさん

11月15日(木)、倉吉未来中心に153人(代議員115人(うち女性25人・参画率21.7%)・特別代議員4人・執行部32人・傍聴2人)が集い「第26回定期大会」を開催し、2018年度の活動の総括を行うとともに、2019年度の運動方針・予算、来年4月の統一地方選挙に向けた7人の鳥取県議会議員選挙予定候補者の推薦を満場一致で承認しました。

【開会】

澤田陽子副会長の開会あいさつの後、後藤小百合代議員(UAゼンセン)と野口美紀代議員(JP労組)を議長に選出し、早速、議事に入りました。

【来賓あいさつ】

本川博孝会長のあいさつに続き、ご多忙の中、ご臨席いただいた来賓を代表して、連合総合総務財政局長の下田祐二さん、鳥取労働局長の丸山陽一さん、国民民主党鳥取県支部連合会代表の伊藤保さん、11月6日(火)に鳥取県に組織が設立された立憲民主党鳥取県連合代表の興治英夫さんと元衆議院議員の湯原俊二さんより激励の言葉をいただきました。

また、平井伸治鳥取県知事は公務のため、午後会場に駆けつけていただき、「鳥取県がより発展していくため、連合鳥取とともに取り組んでいく」とあいさつをいただきました。

【Action!36】

午前の部の最後に、「クラシノソコアゲ応援団! RENGOKYANPEN(第4弾)」の「フォトメッセージ」の取り組みとして、参加者全員が「もう過労死はなくそう」「インターバル制度を導入しよう」と訴えたメッセージボードを掲げながら、「Action!36」とコールしました。

【活動報告 & 議案】

「2018年度の活動報告、会計決算・会計監査報告と剰余金処分案」ならびに「新年度の運動方針、予算役員体制」を執行部より提案し承認されました。また、追加の議案として、「第19回統一地方選挙への対応」についても提案し、鳥取県議会議員選挙に新人一人を含む7人の予定候補者を推薦することを満場一致で承認いただきました。

【第3号議案(抜粋)】

「第19回統一地方選挙への対応」第1号議案「運動方針」の中で、「政治活動の基本」や、今後、国民民主党県連、立憲民主党県連と連合鳥取の3者で政策協定を締結し各級地方選挙に「取り組むとした」「選挙活動の推進」などを承認いただいたことを踏まえ、現職6人の予定候補者について、これまでの関係を大切に、引き続き「推薦」することを承認いただきました。

併せて、働く者の立場に立った議員を増やしていくため、新人の西村弥子(みつこ)さん(国民民主党推薦・米子市選挙区)を「推薦予定候補者」とすることも承認いただき、今後、7人全員の当選をめざしていきます。

※7人の予定候補者は

次ページで紹介

—「第26回定期大会」についてはフォトニュースもご参照ください—

鳥取県の最低賃金/産業別最低賃金が変わります

電子部品・デバイス・電子回路、
電気機械器具、情報通信機械器具製造業

790円

(現在774円)

2018年12月28日発効

鳥取県最低賃金

762円

第19回統一地方選挙 鳥取県議会議員選挙 推薦決定

連合鳥取は「第26回定期大会(2018.11.15開催)」において、来年4月施行予定の「第19回統一地方選挙・鳥取県議会議員選挙」に下記の予定候補者を推薦することを決定しました。








組合員のみならず、ご家族、友人、知人のみなさまからのご支援をお願いいたします。

なぜ労働組合が政治に参加しなければならないの？

組合員の暮らしを守るためには、賃金や労働条件だけではなく、社会保障や税などの様々な政策・制度にも目を向けなければならないから、そのために、私たちの代表者を一人でも多く議会に送ることが重要なんだ。

働く者や生活者のための政策を実現するためには、より多くの議席が不可欠だから、国や地域の行政に働く者の声を届け、安心して暮らせる社会をつくるために、団結して取り組む必要があるんだよ



鳥取市	倉吉市	米子市	東伯郡	西伯郡
				
坂野 経三 郎さん	興治 英夫 さん	浜田 妙子 さん	森 雅 幹 さん	西村 みつこ さん
35歳 現職2期 国民民主党	62歳 現職4期 立憲民主党	73歳 現職4期 立憲民主党	59歳 現職2期 自治労・立憲民主党	48歳 新人 国民民主党
				
伊藤 保 さん	福間 裕隆 さん			
66歳 現職5期 自治労・国民民主党	77歳 現職6期 JR連合・国民民主党			

※上段/年齢(2019年4月時点) 中段/議員歴 下段/推薦依頼団体

連合鳥取2019運動方針<補強部分抜粋>

【組織運営の基本】

- ・2020年2月には「すべての労働者のナショナルセンター」となる。
- ・第27回定期大会を2019年11月に開催する。
- ・連合鳥取結成30年(2020年2月)に向けた諸準備の検討を開始する。

【連合鳥取組織人員目標32,000人の実現】

- ・現在集約中の「組織拡大目標」アンケートの集約から「目標数」を改めて検討し提起する。

【なんでも労働相談ダイヤルの基盤強化】

- ・労働相談の「土曜日開催」や女性相談員の配置などの工夫で相談しやすい環境づくりを進める。

【地域に根ざした顔の見える地協運動のさらなる進化】

- ・顔の見える地協づくりをめざす。

【内外における「発信力」の強化】

- ・SNS等の活用により、より一層の情報発信を実施する。

【労働教育の推進】

- ・ワークルール検定について、2019年春に鳥取県で実施する。(2020年からは初級試験が全県で開催予定)

【広報宣伝活動の推進】

- ・「買おう・使おう仲間の商品、仲間のサービス」運動をより一層強化する。

【平和運動の推進】

- ・「連合の4つの平和行動」の推進を図る。
- ・「連合鳥取ピースウォーク」を継続実施する。

【人権・連帯活動の強化】

- ・第90回メーデー大会を「2019年4月27日(土)」に開催する。
- ・災害時には「困ったときはお互い様」の精神を大切にしたい取り組みを実施する。
- ・「連合鳥取防災マニュアル」の点検と見直しを実施する。

【国際連帯活動の推進】

- ・吉林省総工会との友好交流<2019年度は訪中>(2018年度分/12月に招聘)
- ・吉林省総工会との「相互友好交流協定(～2020年5月)」以降の再締結に向けた協議を開始する。

【政策・制度要求、政策実現に向けた取り組み強化】

- ・「連合鳥取2020年度政策・制度要求」の取り組み
⇒「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、働く人・生活者の立場に立った政策の実現に全力で取り組む。

【クラシノソコアゲ応援団！RENGOキャンペーン第4弾の取り組み】

- ・重点取り組みとして「Action!36」に取り組む。
※すべての職場で「36協定」を締結する。
<具体案>①36協定の適正化などをテーマにしたフォーラムの開催
②全国一斉労働相談ホットライン ③街宣活動

【取引の適正化と公契約運動】

- ・「下請法」をはじめとする関係法令の周知とその遵守・徹底を行政や経営団体に求める。

【2019春季生活闘争】

- ・社会に開かれた春季生活闘争の実現に向けた「地域フォーラム」を開催する。

【働き方改革関連法の対応】

- ・労働者保護ルールの後退阻止に向けた世論喚起に取り組む。

【男女平等参画の推進】

- ・女性活躍推進PTと共同で、県議会党派「民主」、県女性活躍キャラバン隊等と話し合いの場を設け、地域での女性参画と活躍の推進を図る。

【政治活動の基本】

- ・統一地方選挙と参議院選挙が重なる2019年は、働く人・生活者の立場に立つ政治勢力の拡大に向け、組織の総力を挙げた戦いを展開する。

【選挙活動の推進】

- ・連合鳥取と国民民主党鳥取県総支部連合会、立憲民主党鳥取県連合の3者で政策協定を締結する。
- ・2019年7月の「参議院議員選挙」では、連合が政策協定を締結する政党をはじめとする連合推薦候補者の当選をめざす。
- ・働く人・生活者に寄り添う政治勢力の拡大を図るため、「連合鳥取政策フォーラム(2018年結成)」と連携し、更なる推進を図る。

【推薦議員との連携】

- ・今年見直した「推薦協定書」をもとに、推薦する側される側の責任を明確化する。
- ・日常的運動課題や政策・制度要求の実現、生活環境改善の取り組みなど、働く人・生活者に寄り添う政治勢力の拡大を図る。

臨時執行委員会(2018.11.6)にて

今後の協力を確認



【Action!36/フォトメッセージ撮影】

参加者全員で「Action!36」とコールしました。この写真は、連合ホームページに掲載されます。

連合ホームページから右のロゴマークをクリックしてみてください。
全国の仲間が声をあげています。



連合エコライフ21

検索

全員当選を果たす! <鳥取市議会議員選挙結果>

11月18日(日)、鳥取市議会議員選挙が実施され、連合鳥取が推薦した5人の候補者全員が当選されました。みなさまのご支援に心より感謝申し上げます。

当選 椋田 昇一(部落解放同盟) 2,639票(推薦)

当選 秋山 智博(国民民主党・部落解放同盟) 2,019票(推薦)

当選 足立 考史(自治労) 2,425票(推薦)

当選 勝田 鮮二(国民民主党) 1,471票(推薦)

当選 長坂 則翁(国民民主党) 2,121票(推薦)

(敬称略)

推薦候補者
全員当選!!



椋田昇一さん



足立考史さん



長坂則翁さん



秋山智博さん



勝田鮮二さん

中部地協 / 政治を身近に感じた「推薦議員と意見交換会」

中部地域協議会は、11月10日(土)夕方、倉吉シティホテルにおいて「推薦議員との意見交換会」を開催しました。

この会の目的は、①推薦議員の活動を労働組合と共有すること、②日頃感じていることを推薦議員に伝えること、③政治に関心をもってもらえること、などを主旨に中部地域の各単組代表者に集まっていたが、今回は32人(内女性5人・参画率15.6%)が参加しました。

<主催者代表あいさつ>

笠見一也議長

来年は統一地方選挙と参議院選挙が重なる重要な年でもあるので、政治に関心を持っていただきたい。

<活動報告> 次の3人より三者三様の報告がありました。

伊藤たもつ県議会議員 (写真上段) 9月定例会代表質問で取り上げた、消費税引き上げに伴う地方配分、国体2巡目等について

興治英夫県議会議員 (写真中段) 中部地区各組合から要望のあった、除雪対策・教員の長時間労働問題・人手不足問題等について質問したやり取りについて

湯原俊二元衆議院議員 (写真下段) 税金は会費と同じ。その住民の町づくりをする会費である。政治はその会費の集め方、使い方を決めて行く役目である。また、社会のルール(法律・条例)を作る場所でもあるので、社会保障・税金の使われ方等、皆さんの声を届けてほしい。

<グループ討議> 参加者を5グループに分け、討議の柱を「もっと暮らしやすい鳥取県(中部地区)にするために行ってほしいこと」について討議を行いました。



私たちは、子どもと教職員に関わる身近な問題から、地球規模のグローバルな問題まで、子どもの未来の社会づくりのため、様々な活動にとりくんでいます。

日教組におじゃまします

教職員のための活動

労働条件の整備・改善
働きやすい職場づくり
教育・研究
各種の相談

子どもの未来づくり・社会づくりのための活動

法律・制度づくり
より良い社会づくり
社会貢献活動



第74回定期大会(2018.6.9)

上記の他、教育関連資料の収集・保存や、教職員の現場の声をまとめる全国調査など、子どもと教育・教職員の未来づくりのための幅広い活動を行っています。

今回は… JR連合をご紹介します

Information

※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。

12月全国一斉労働相談ダイヤル

- テーマ 働き過ぎていませんか？
～まずは、あなたの働き方を診断！
～連合全国一斉集中労働相談ホットライン
- 日時 12月11日(火)～12日(水)いずれの日も10時～19時
- 場所 連合鳥取事務所

Action/ 連合 全国一斉集中
36 0120-154-052
フリーダイヤル いこうよ れんごうに



秘密厳守 相談無料 携帯・スマホからもOK

第90回メーデー・ポスター・図案募集

○締切り 2019年1月7日(月)連合鳥取必着

◎入選 最優秀賞1点(10万円) 優秀賞2点(各3万円)
 最優秀賞は第90回メーデーポスター図案に使用

応募方法

1. 図案イメージ：90回目の節目のメーデーであり、以下の考えを踏まえた写真やイラスト等を用いたデザイン
 - ①すべての働く仲間が結集し、働くことを軸とする安心社会を実現する。
 - ②支え合い、助け合いを基本とした社会のうねりを呼び起こす運動を推進する。
 - ③INGO・NPO等の諸団体とのつながりや共感を深める。
 - ④震災の被災地復興支援と、その教訓を風化させない取り組みの継続・強化をはかる。
2. 対象：連合組合員とその家族および退職者
3. 用紙：B4サイズ・タテ、画用紙またはケント紙（応募は1人・1点に限る）
4. 記載事項：用紙の裏側に氏名、自宅住所・電話番号、所属労働組合・電話番号、構成組織名または、地方連合会名を記入のこと。記載もれがないようご注意ください。
5. その他：ご応募いただいた作品は連合鳥取より「メーデー中央実行委員会」へ送ります。

◎応募作品は返却しません。著作権はメーデー実行委員会の所有となります。
 (注意事項)著作権上の問題が発生する恐れのあるデータを使用しない。
 写真についてもオリジナルのものを使用する。

“ザ・議員”

坂野 経三郎 鳥取県議会議員

今回の立憲民主党鳥取県連の立ち上げにより、国民民主党だけでは拾えない県民の声に応えることを期待をし、設立を歓迎したいと思います。

振り返れば私は、妻の参議院選立候補が、政治に入るきっかけです。その時の政党は民主党。その後、党本部に振り回される形で、民進党、希望の党、国民民主党と移りました。私は、その流れは大切にしたいと思います。

その上で、「額に汗して働く労働者が報われる社会の実現」この目標のため再び、野党が一つの塊となれるよう、鳥取から流れを作りたいと考えています。

その意味でも、これまで通り県議会議員6人と県議会同会派「民主」として、これまで以上に連携して活動してまいります。



同い年の中谷一馬衆議院議員披露宴 (写真一番右が坂野議員)

中田 利幸 米子市議会議員

連合鳥取に結集するみなさまの活動に敬意を表します。

本年6月に行われた米子市議会議員選挙に際しましては、温かく力強いご支援を賜り、本当にありがとうございました。

現在、これまで取り組んできました公共交通政策や都市機能政策はもとより、安心して働くための育児環境や高齢者問題にも力を入れて取り組んでいるところです。

高齢化のさらなる進捗と少子化問題からの若年層への施策が同時並行して語られておりますが、国の政策を見る限りでは、世代間対立になりかねない懸念も抱きます。

連合運動に結集する議員として、組合員のみなさまと語り合いの場を持ちながら、ライフ・ワークバランスのとれる環境整備に向けて引き続き取り組んでまいりますので、引き続きの連携をよろしく願い申し上げます。



演説会の様子

私の趣味は、日本城郭協会が制定した、日本全国にある、百名城といわれる城をめぐる、各名城に設置されたスタンプを集めることです。▼城を見に行くという面白さはもちろんありますが、城めぐりを通して、有名な観光地だけでなく、あまり有名ではないようなところに行き、ガイドブックに載っていないような穴場な美味しいご飯屋さんを見つけたり、景色が美しい場所に出会ったりすることができるといいう点でも非常に面白いです。また、スタンプを集め、スタンプ帳が埋まっていくのも見ていてわくわくします。▼この百名城めぐりを始めてから、日本の様々なところに行くことができました。しかしそれは反対に、百名城全てをコンプリートするまでまだまだ半分以上お城が残っているのです。残りの百名城巡りを通して、日本の知らない場所をこれからもたくさん旅して発見していきたいと思えます。▼あと何年かかるかわかりませんが、百名城制覇をしながら日本一周する事が今の私の目標です。

(モハー)



ついでに

